

きいて きかれて いいきもち

小学校・2年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「共感と連帯感」）

＝【人権感覚育成のための視点】

「よいきき方」とはどのようなきき方なのかを考えたり、「よいきき方」をするために互いの気持ちを理解することの大切さを体験的に学習したりすることを通して、安心して互いの考えを伝え合い、他者への共感や連帯感を育てる。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

- （1） 他者の立場や思いに興味・関心を寄せ、自他の価値を尊重しようとする。（価値・態度）
- （2） 能動的な傾聴や適切な自己表現で伝え合い、友達と協力しながら課題に取り組むことができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

全体で「よいきき方」について考え、「よいきき方」の約束について確認する。ペアになり、能動的な傾聴を意識しながら友達の発表をきく。

○活動2

テーマに沿って、思いついたアイデアをグループで発表し合い、能動的な傾聴や肯定的な言葉掛けをする。活動を振り返り、感じたことや思ったことの意見交流をする。

2 準備するもの

- 事前アンケート（事前に実施して、児童に問題意識をもたせるとよい。）
- 自己紹介カード（事前に児童に記入させておく。）
- アイデアワークシート
- 振り返りシート

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「きき名人になろう」
 - ① 「よいきき方」とは、どのようなきき方かを考える。
 - ② 「よいきき方の約束」について確認する。
 - ③ 「よいきき方の約束」を使って、ペアで自己紹介し合う。
- 活動2 「アイデアいっぱい出してみよう」
 - ① テーマに沿って、思いついたアイデアをアイデアワークシートに書く。
 - ② グループで各自のアイデアを発表し合う。
 - ③ 活動を振り返り、感じたことや思ったことを意見交流する。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 「よいきき方」できき合うことがお互いの気持ちを理解する上で大切であることを体験するためのアクティビティーであるため、「よいきき方」とは何かを考え、全員が理解した上で活動することが大切である。
- 1分程度で発表できる自己紹介カードを事前に書かせておく。
- 「活動2」では、能動的な傾聴、肯定的な言葉掛けを意識して活動する。
- 「活動2」でのテーマは、例えば、「あったらいいな、とても大きな〇〇」などのような正解のないものにすると、児童の発想の面白さやよさにも気付くことができるのでよい。
- 児童の発想を大切にしながら、みんなが喜んだり楽しんだりできるものを考えさせ、人を不快にさせるような考えが出ないように配慮する。
- 事後指導として、「よいきき方」ができたかどうか振り返る「きき名人週間」を設けるとより効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動		教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
	発問（T）	児童の反応例（C）	
	1 アイスブレイキング 「ジェスチャーゲーム」		
	T グループごとに一列に並びましよう。		・ ルールの説明を簡潔に行う。

<p>5分</p>	<p>T 先生が先頭の人にテーマを出します。そのテーマを最後の人まで伝えるゲームです。</p> <p>T 言葉を使っははいけません。表情や身振りだけで伝えましょう。</p> <p>C 表情や身振りだけだとなかなか伝わらない。</p> <p>C 言葉で話すと簡単なのにな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の緊張を和らげるとともに、ジェスチャーで伝えることの難しさを意識させ、展開へとつなげる。
<p>25分</p>	<p>2 活動1の学習内容の確認</p> <p style="text-align: center;">きき名人になろう</p> <p>T 「よいきき方」とは、どのようなきき方でしょうか。</p> <p>C 話をしないできく。</p> <p>C 話している人の方を向いてきく。</p> <p>T それでは「よいきき方の約束」を、みんなで確認します。</p> <p>《例》・話をしない最後まできく ・話している人の方に体を向けてきく ・うなずきながらきく ・話が終わったら拍手をする</p> <p>T 「よいきき方の約束」を使って、隣の人と自分のことについて紹介しましょう。</p> <p>3 活動2の学習内容の確認</p> <p style="text-align: center;">みんなが楽しめるアイデアいっぱい出してみよう</p> <p>T ワークシートに書かれたテーマについて、思いついたアイデアを自由に書きましょう。</p> <p>T いくつ書いてもいいです。みんなが楽しくなるようなアイデアをたくさん書きましょう。</p> <p>T グループの人とアイデアを伝え合いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よいきき方について考えさせ、児童から出された考えをもとに、教師が補足しながら「よいきき方の約束」を板書し、確認する。 ◎よいきき方できくことで、相手の気持ちを考えて尊重することが、相手を理解する上で大切だということを全員で確認できるように、教師が悪いきき方の例を示す。(技能) ・事前に書かせておいた自己紹介カードを見ながら、順番にペアで自己紹介させる。 ・正解のない様々なアイデアが思いつきそうなテーマを用意し、自由な発想を大切にする。 <p>《テーマ例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とってもおもしろい〇〇大会」 ・「あったらいいな、とても大きな〇〇」 ・「いってみよう、〇〇だらけの島」

	<p>T きくときは、「よいきき方の約束」を使ってききましょう。また、「いいね」「〇〇がすごい」「おもしろそう」などの言葉もかけましょう。</p>	<p>◎机間指導をし、みんなが楽しめるアイデアを書いていたたり、能動的な傾聴、肯定的な言葉掛けができていたりする児童を称賛する。 (価値・態度)</p>
15分	<p>4 振り返り T 今日の学習をしてみて、思ったことや分かったことを書きましょう。 T 思ったことや分かったことを発表しましょう。 C よいきき方が分かった。 C よいきき方できいてもらおうと、うれしい。 C よいきき方できくと、話していることがよく分かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入したことをもとに感想を発表させ、お互いの意見の交流ができるようにする。 ・能動的な傾聴によって一人一人の考えを大切にすることで、分かり合い、共感できることに気付かせる。

IV 資料

(1) 自己紹介カード

じこしょうかいカード

名前

すきなたべもの

すきな遊び

すきなべんきょう

たからもの

(2) アイデアワークシート

アイデアいっぱい出してみよう

テーマ「みんながえがおになるとってもおもしろい○○○大会」

【れい】「みんながえがおになる とってもおもしろい かくれんぼ 大会」

「みんながえがおになる とってもおもしろい 大会」

「みんながえがおになる とってもおもしろい 大会」

「みんながえがおになる とってもおもしろい 大会」

アイデアいっぱい出してみよう

テーマ「みんながえがお！ あったらいいな、とても大きな○○○」

【れい】「みんながえがお！ あったらいいな、とても大きな かきごおり」

「みんながえがお！ あったらいいな、とても大きな 」

「みんながえがお！ あったらいいな、とても大きな 」

「みんながえがお！ あったらいいな、とても大きな 」

アイデアいっぱい出してみよう

テーマ「行ってみよう！ みんながよろこぶ○○○だらけの島」

【れい】「行ってみよう！ みんながよろこぶ おかし だらけの島」

「行ってみよう！ みんながよろこぶ だらけの島」

「行ってみよう！ みんながよろこぶ だらけの島」

「行ってみよう！ みんながよろこぶ だらけの島」

(3) 振り返りシート

ふりかえりカード

名前 ()

○ 今日の学しゅうをふりかえりましょう。

- ① 「よいきき方のやくそく」をつかって、友だちの話をききましたか。
そうだと思うものに○をつけましょう。

よくできた だいたいできた すこしできた できなかった

- ② 今日の学しゅうで、思ったことやわかったことを書きましょう。

--

- ③ 話をきくときにこれから自分ががんばることを書きましょう。

どんなとき？
どのように？
何をがんばる？

- ◎ 「よいきき方のやくそく」をまもれた日と③のがんばることができた日に○をつけましょう。

月	日						
		「よいきき方のやくそく」を まもれた					
		③のがんばることが できた					